

## ①実用新案公報

④公告 昭和 47 年(1972)12 月 20 日

(全 2 頁)

1

### ⑤商品収納販売ケース

②実 願 昭 43-47187

②出 願 昭 43(1968)6月7日

②考 案 者 田中泰

東京都中野区新井2の35の3

②出 願 人 株式会社エリカ

同所

代 理 人 弁理士 平井二郎

### 図面の簡単な説明

図は本考案の実施例を示すもので、第1図は本考案ケースを陳列掛止板に取付けた場合の正面図、第2図はケースの正面図、第3図は同側面図、第4図はケース上辺部分の要部断面図である。

### 考案の詳細な説明

本考案は各種の商品を合成樹脂の袋体に収納し陳列販売されるケースの改良に関するものである。

従来この種のケースは袋体上辺に製造元或いは商品名を記入した紙板が取付けられ、販売方式によつては単に陳列するのみではなく多数のケースを壁に掛架した陳列基板に接着懸架している。然し袋体上辺に取付けられる台紙は、袋体上辺でホツチキスにより止着されているものが多かつた。この場合止着作業に手間を要するばかりでなく、外観の体裁が良くなく、又ホツチキスの針の折損或いは止着部の袋体のフィルムの破損等で紙板が除去されたり、内部商品の完全な包装が出来ず塵が侵入する等好ましくない問題点が多々見られた。

本考案はこれらの欠点を改善し外観優美で商品価値を一層向上せしめたるものである。

以下本考案の実施例を図により説明すると、第2図乃至第4図に示すように、袋体1の開口部上辺を該袋体1と同質材料の被膜加工2'を施した台紙2の端縁に高周波接着により溶着3したものである。

この接着の際第4図の断面図に示すように袋体1の上辺端縁に台紙2の下辺となる端縁を上向きにし、これと揃えて重合並列させ高周波接着した後に下

2

向きとなつてある台紙2の上辺となる端縁を反転させて上向きさせることにより袋体1の溶着部3に折曲部7が形成されて、袋体1が台紙2に垂下された状態となる。

5 この溶着部3に形成される折曲部7は、直接ストレートに重合溶着したものに比較して台紙2との接着部分に於いてふくらみが出来外観上優美感を与える効果を有する。

又高周波接着作業の際、台紙1の下辺端縁線に沿10つて袋体1の上辺端縁線を合せて重合することにより全端縁線が一線に揃い接着位置決めがすこぶる容易で、作業が簡単であると同時に、接着仕上りも不揃が生ずることなく出来上るものである。

更に台紙2には接着する袋体1の材質と同質の樹15脂加工を施した被膜2'が形成されているから勿論完全なる接着効果を有し、又台紙2自体も強靭となり、袋体1との接着部分或いは台紙2の破損のおそれは全くない。従つて第2図の如く台紙2に穿孔6を設け、これを第1図に例示するように掛止陳列基板に20掛止具5等を介して懸架する場合でも、袋体1内の商品に重量があつても破損することなく確実に懸架状態を維持しているものである。又袋体1と台紙2との接着部分は全体に亘つて密着、密封状態であるから塵等が袋体1内に侵入することもなく完全な包装状態を確保している。

以上の通り本考案は、製作容易にして外観優美な強靭なる商品販売ケースを安価に提供するものである。

### 実用新案登録請求の範囲

適宜の商品を収納する合成樹脂製袋体の開口部上辺を、該袋体と同質の樹脂被膜層を施した台紙の端縁に、前記袋体開口部上辺を反転して高周波接着して成る商品収納販売ケース。

35

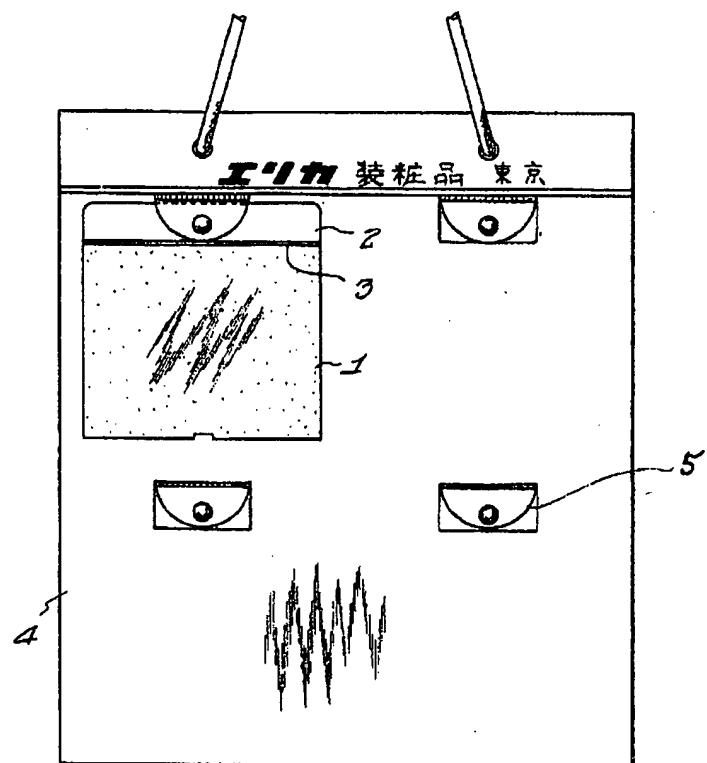
### 引用文献

実 公 昭 36-735

(2)

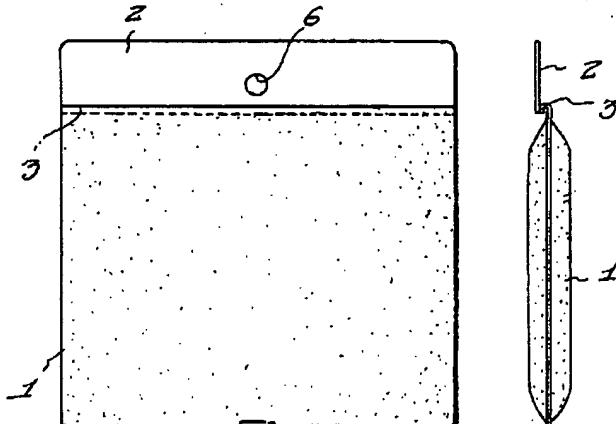
実公 昭47-42226

甲 1 図



甲 2 図

甲 3 図



甲 4 図

